



# 賢く 優しく 逞しく

11月号・令和6年11月6日発行

本校URL <http://musashimurayama.ed.jp/mmced5c/> 武蔵村山市立第五中学校

## 一生懸命にやること

校長 榎戸 千代子

朝晩めっきり冷え込んでまいりました。11月は旧暦で「霜月」とよばれ、文字通り「霜が降る月」です。しばらく前まで暑い日が続いたので、「霜」はまだ早いように思いますが、旧暦を今の新暦に換算すると、11月下旬から1月上旬を指すそうなので、納得できます。一年間を四季、気候などの視点で分けた二十四節気には、「霜降」（そうこう）があります。今年、10月23日から11月6日頃にあたるようです。気温がぐっと下がり、空気中の水分が凍って草木の表面や地面につくと霜になります。これから日増しに寒くなってくると思います。体調を崩さないように気を付けて生活してください。



10月25日（金）にさくらホールで合唱コンクールが行われました。コロナ禍では、全校が集まったコンクールを開催できない年もありましたが、昨年度からさくらホールで全校そろって開催できるようになりました。大変うれしく思います。

開会式後、1年生の合唱が始まりました。課題曲は「夢の世界を」です。トップバッターは1年5組。最初なので緊張していると思われましたが、元気よく大きな声で歌ってくれました。この5組の元気のよさが、そのあとの2年生、3年生の合唱にも大きな影響を与えました。続く2年生の課題曲は「時の旅人」です。2年生は、昨年度の経験を活かし、きれいなハーモニーを響かせてくれました。昼休みとなり、3年生はいよいよ自分たちの番だと気合を入れ、昼食もそこそこにクラス練習を始めました。3年生の課題曲は、皆に広く愛されている「大地讃頌」です。今年の3年生は、全員合唱で、全クラスが舞台上上がり客席を向いて歌いました。5クラスがそろそろ迫力が出て、さすが3年生！ 歌声はホールいっぱいに響き渡り、圧巻でした。各学年、各クラスの自由曲は、自分たちが3週間愛着をもって歌い込んできた曲なので、自信をもって合唱していました。1週間前のリハーサルより格段に上達し、舞台上で一生懸命歌う姿に感動しました。どの学年も素晴らしかったと思います。

さらに、今年度は「PTA職員合唱」も復活しました。曲名は、GReeeeNの「キセキ」です。少ない練習時間だったので、各自で自主練習などを重ねました。会場の子供たちや保護者、地域の皆様にも喜んでもらえたと思います。

閉会式で審査の結果は出ましたが、皆が一つの目標に向かって努力したこと、そして、うれし涙や悔し涙を流したことは一生懸命取り組んだ証です。この充実感や達成感を次の活動にも活かしてもらいたいと思います。

また、10月29日（火）には、生徒総会が行われました。後期からは生徒会役員や各委員会の委員長さんも2年生が中心です。委員長としての所信表明は堂々としていて立派でした。「集団生活なので、誰しものが生活しやすい学校を作る」、「常にきれいが保たれ、それが当たり前の学校にする」、「年間5冊以上読むという目標に向けて頑張る」、「毎日元気に過ごせるように活動する」、「残食が少ない学校を目指す」、「皆が楽しめる放送を流す」など頼もしい答弁をしてくれました。これからの活躍が楽しみです。

明るいあいさつ・みんなの笑顔

第五中学校区（二小・八小・十小・五中）